

# 評価額見直しに伴う費用対効果分析結果(正誤表)

## 3. 費用対効果分析

【北上川上流ダム再生事業】

誤

### (5) 費用対効果分析(費用便益比)

項 目			今回評価(R3)		前回評価(H30)	H25.9洪水型※2
			全体事業 (R1~R10)	残事業 (R4~R10)	全体事業 (R1~R10)	全体事業 (R1~R10)
			治水	治水	治水	治水
			現在価値化	現在価値化	現在価値化	現在価値化
C 費用	建設費	①	230億円	219億円	210億円	230億円
	維持管理費	②	2億円	2億円	1億円	2億円
	総費用	③=①+②	232億円	221億円	211億円	232億円
B 便益	便益	④	256億円	256億円	251億円	1,004億円
	残存価値	⑤	11億円	13億円	11億円	11億円
	総便益	⑥=④+⑤	267億円	268億円	263億円	1,015億円
費用便益比(CBR) B/C			1.2	1.2	1.2	4.4
純現在価値(NPV) B-C			36億円	47億円	52億円	784億円
経済的内部収益率(EIRR)			4.7%	5.0%	4.9%	15.5%

※1 表示桁数の関係で計算値が一致しないことがあります。

※2 H25.9洪水を各確率規模で氾濫計算を実施し、算出した値を使用しています。

- 評価基準年次:令和3年度
- 総便益(B):・便益(治水)については評価時点を現在価値化の基準時点とし、治水施設の整備期間と治水施設の完成から50年間までを評価対象期間にして年平均被害軽減期待額を割引率を用いて現在価値化したもの  
・残存価値:将来において施設が有している価値
- 総費用(C):・評価時点を現在価値化の基準時点とし、治水施設の整備期間と治水施設の完成から50年間までを評価対象期間にして、建設費と維持管理費をアロケーション率及び割引率を用いて現在価値化したものの総和  
・建設費:北上川上流ダム再生事業に要する費用  
・維持管理費:北上川上流ダム再生事業の維持管理に要する費用
- 割引率:「社会資本整備に係る費用対効果分析に関する統一運用指針」により4.0%とする

### ■ 感度分析(治水)

	全体事業 (B/C)	残事業 (B/C)
残事業費 (+10%~-10%)	1.1 ~ 1.3	1.1 ~ 1.3
残工期 (+10%~-10%)	1.1 ~ 1.2	1.2 ~ 1.2
資産 (+10%~-10%)	1.2 ~ 1.1	1.3 ~ 1.1

# 評価額見直しに伴う費用対効果分析結果(正誤表)

## 3. 費用対効果分析

【北上川上流ダム再生事業】

正

### (5) 費用対効果分析(費用便益比)

項 目			今回評価(R3)		前回評価(H30)	H25.9洪水型※2
			全体事業 (R1~R10)	残事業 (R4~R10)	全体事業 (R1~R10)	全体事業 (R1~R10)
			治水	治水	治水	治水
			現在価値化	現在価値化	現在価値化	現在価値化
C 費用	建設費	①	230億円	219億円	210億円	230億円
	維持管理費	②	2億円	2億円	1億円	2億円
	総費用	③=①+②	232億円	221億円	211億円	232億円
B 便益	便益	④	255億円	255億円	251億円	1,004億円
	残存価値	⑤	11億円	13億円	11億円	11億円
	総便益	⑥=④+⑤	266億円	268億円	263億円	1,015億円
費用便益比(CBR) B/C			1.2	1.2	1.2	4.4
純現在価値(NPV) B-C			35億円	47億円	52億円	784億円
経済的内部収益率(EIRR)			4.7%	5.0%	4.9%	15.5%

※1 表示桁数の関係で計算値が一致しないことがあります。

※2 H25.9洪水を各確率規模で氾濫計算を実施し、算出した値を使用しています。

- 評価基準年次:令和3年度
- 総便益(B):・便益(治水)については評価時点を現在価値化の基準時点とし、治水施設の整備期間と治水施設の完成から50年間までを評価対象期間にして年平均被害軽減期待額を割引率を用いて現在価値化したもの  
・残存価値:将来において施設が有している価値
- 総費用(C):・評価時点を現在価値化の基準時点とし、治水施設の整備期間と治水施設の完成から50年間までを評価対象期間にして、建設費と維持管理費をアロケーション率及び割引率を用いて現在価値化したものの総和  
・建設費:北上川上流ダム再生事業に要する費用  
・維持管理費:北上川上流ダム再生事業の維持管理に要する費用
- 割引率:「社会資本整備に係る費用対効果分析に関する統一運用指針」により4.0%とする

### ■ 感度分析(治水)

	全体事業 (B/C)	残事業 (B/C)
残事業費 (+10%~-10%)	1.1 ~ 1.3	1.1 ~ 1.3
残工期 (+10%~-10%)	1.1 ~ 1.2	1.2 ~ 1.2
資産 (+10%~-10%)	1.2 ~ 1.1	1.3 ~ 1.1